

### □対応車種

車名、通称名		車両型式	
マツダ RX-7		E-FC3S	
年式	エンジン型式	アペックス製品番号	
'85/9~'91/12	13B	145-Z001	

### □構成内容

No.	パーツ名	サイズ	数量	No.	パーツ名	サイズ	数量
①	アペックスフロントパイプ	専用品	1	③	アペックス証明書		1
②	ガスケット	P100 × φ66.5	1	④	取扱説明書		1

### □アペックスフロントパイプの装着方法

1. 右図を参照して、フロントパイプを装着し、各ナットの仮締付けを行ってください。  
※右図のナットは複数の場合省略してあります。すべて取付けてください。
2. マフラーの位置関係や自動車の床、クロスメンバ、その他の周辺部品とのクリアランス及びフランジ間のガスケットのずれを確認しながら仮締付けしてあったナットを前側から順番に指定トルクで締付けてください。

#### ■締付けトルク

M12 46~59N・m(4.7~6.0 kgf・m)

M18 44N・m(4.5 kgf・m)

3. テールパイプと車両側バンパの位置関係、クリアランスを確認してください。不具合が発生した場合、最初から締めなおしてください。

#### ▲警告

特にブレーキ関係、燃料関係、駆動関係及び電気関係の配線とのクリアランスには、細心の注意を払ってください。

#### ▲注意

クリアランス不足を放置すると異常な音が出たり、樹脂バンパの場合熱で溶けることがあります。

#### ▲注意

フロントパイプの取付けによって、ターボの最大過給圧があがる場合があります。過給圧が上がるとエンジンに破損の原因となりますので、フロントパイプ装着後は必ず過給圧の確認及び設定を行ってください。

### □アペックスフロントパイプの装着状態の確認

1. 全体の取付けが完了したら、再度マフラーを手で揺さぶり各部のクリアランスを確認してください。
2. エンジンを始動して暖機し、約2,500回転にして各フランジからの排気漏れ、各部の異常音を点検してください。
3. 試運転して再度、各フランジからの排気漏れ、各部の異常音を点検してください。
4. 1~3の項目に異常が発生した場合、面倒でも最初から装着をやりなおしてください。
5. 取付け時から200km~300km走行後、各部に緩みが無い事を点検し、増締めを行ってください。

